

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	高齢者における膵癌切除後の補助化学療法の有効性
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	消化器内科 川口真矢
研究期間	2024年5月～2027年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2024年5月10日）
対象者	2012年1月より2022年12月までに当院で膵がんの手術を受けた中で、手術時年齢が75歳以上の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	膵癌は予後不良な疾患です。切除可能な進行状態では手術治療が唯一の根治治療ですが、手術単独での5年生存率は十分とはいいがたく、手術単独での治療には限界があるといえます。本邦では膵癌切除後にS-1（エスワンタイホウ®など）内服による術後補助化学療法の有効性がしめされ標準治療として行われています。 一方、75歳以上の高齢者においては膵癌術後の補助化学療法の有用性について十分な検討がなされておられません。そこで、高齢者における膵癌術後の術後補助化学療法の有用性を検討する目的に本研究を企画しました。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別、家族歴、既往歴など）、 ・臨床データ（病理組織結果、補助化学療法の有無/内容、再発の有無など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器内科 川口真矢 代表 054-247-6111